

平成27年(2015年)基準改定概要

令和元年5月31日
岐阜県環境生活部統計課

1 改定の趣旨

鉱工業指数については、「指数の基準時に関する統計基準」(平成22年3月統計基準設定)において、「指数の基準時は、5年ごとに更新することとし、西暦の年数の末尾が0または5である年とする」とされていることから、現行の基準時である平成22年(2010年)から平成27年(2015年)を新たな基準時とし、ウエイトや採用品目、季節調整法について見直しを行った。

2 改定の対象とした指数

平成27年基準へ改定を行った指数は、以下の3系列である。

- ① 生産指数(付加価値ウエイト)
- ② 出荷指数
- ③ 在庫指数

3 改定の主な内容

(1) 基準時及びウエイト算定年次の変更

指数の基準時及びウエイト算定年次を、平成22年(2010年)から平成27年(2015年)へ変更した。

指数値は、平成27年の平均を100.0とした比率で示される。

(2) 業種分類の一部変更

平成27年(2015年)基準指数の業種分類は、原則として「日本標準産業分類(第13回改定)」(平成25年10月統計基準設定)に準拠し、22年(2010年)基準の分類を踏襲した。

◇一部修正を行った業種

- ①「はん用・生産用・業務用機械工業」における「はん用」を「汎用」に改め、「汎用・生産用・業務用機械工業」とした。
- ②参考系列である「電力・ガス事業」を廃止した。

(3) 採用品目の見直し

生産・出荷・在庫の採用品目は、主に経済産業省生産動態統計から選定した。業種別に平成22年基準採用品目及び新規品目の動向を考慮し、見直しを行った。

品目数……174品目【22年(2010年)基準は177品目】

新規採用品目…9品目

非採用品目…12品目

(4) ウェイトの見直し

業種別のウェイトは、「平成28年経済センサス-活動調査」を基礎データとして指数の業種分類に適合するよう組み換えを行ったうえで、算定した。

また、品目別のウェイトは「平成28年経済センサス-活動調査」のほか、「経済産業省生産動態統計」や各種業界統計などにより単価・金額等を推計し、業種別のウェイトを採用品目の金額構成比により按分した。

指数の種類	ウェイトが上昇した主な業種		ウェイトが低下した主な業種	
生産指数(付加価値)	汎用・生産用・業務用機械工業	1282.1 → 1752.4	化学工業	1253.8 → 908.7
出荷指数	輸送機械工業	2408.7 → 2715.4	電気機械工業	1073.0 → 860.5
在庫指数	機械工業	2251.8 → 2491.1	窯業・土石製品工業	2798.9 → 2275.9

(5) 季節調整法

平成27年(2015年)基準は、平成22年(2010年)基準と同様、米国センサス局の「X-12-ARIMA」を採用した。

4 新基準への切替え時期と時系列値

平成27年(2015年)基準による指数値へは、平成31年3月分(令和元年5月公表分)から切り替えた。

過去系列は平成25年1月以降について新基準による系列を作成した。

また、平成24年以前については、平成25年1月から3月の時点で22年(2010年)基準との接続を行い、「接続係数」を用いて過去時系列(接続指数)を整備した。

別表

平成27年(2015年)基準 業種一覧及び業種別ウエイト

業種別	ウエイト		
	生産	出荷	在庫
鉱工業	10000.0	10000.0	10000.0
製造工業	9978.3	9984.1	9980.7
鉄鋼業	246.4	313.3	202.9
非鉄金属業	130.5	169.3	48.6
金属製品工業	819.6	664.8	480.8
機械工業	4793.0	5126.2	2491.1
汎用・生産用・業務用機械工業	1752.4	1550.3	—
電気機械工業	1003.0	860.5	—
輸送機械工業	2037.6	2715.4	—
窯業・土石製品工業	916.7	761.4	2275.9
化学工業	908.7	488.6	865.4
プラスチック製品工業	904.3	974.3	1352.2
パルプ・紙・紙加工品工業	253.7	401.3	670.7
繊維工業	262.5	349.8	530.7
食料品工業	211.5	309.8	397.4
その他工業	531.4	425.3	665.0
家具工業	283.9	167.2	352.3
木材・木製品工業	40.7	49.7	157.2
鉱業	21.7	15.9	19.3